

平成29年度 全国学力・学習状況調査結果概要と改善策

平成29年4月18日(火)実施 旭川市立明星中学校

学力調査

	国語A (主として知識に関わる問題)	国語B (主として活用に関わる問題)	数学A (主として知識に関わる問題)	数学B (主として活用に関わる問題)
成果が見られるおおむね達成されている設問	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめる 文章に即して漢字を正しく読む 語句の意味を理解し、文脈の中で正しく使う 助詞の働きについて理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する 目的に応じて資料を効果的に活用して話す 	<ul style="list-style-type: none"> 分数の情報の計算ができる 実生活の場面において、ある数量が正の数と負の数で表されることを理解している 平行移動した図形をかくことができる 円錐が回転体としてどのように構成されているかを理解している 	<ul style="list-style-type: none"> 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる 与えられた表やグラフから、必要な情報を読みとることができる
課題が見られる設問	<ul style="list-style-type: none"> 事象や行為などを表す多様な語句について理解する 楷書と行書の違いを理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 表現の仕方について捉え、自分の考えを書く 相手の反応をふまえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるよう工夫して話す 	<ul style="list-style-type: none"> 扇形の弧の長さを求めることができる 与えられた反比例の表において、比例定数の意味を理解している 与えられた度数分布表について、ある階級の相対度数を求めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる
主な改善策	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活で会議の場面を設定し、「可決」「否決」「保留」などの適切な言葉を使うなど、話し合いの具体的な場面に応じた適切な言葉について考えたり、調べたりする学習の一層の充実 行書の基礎を学習する際に、楷書と行書の特徴の違いを理解させる学習の一層の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 文学的な文章を読み感想を書く際に、心情や考えだけでなく表現技法の使い方など既習事項を踏まえる学習の一層の充実 本を読んで感じたことや考えたことを交流し、ものの見方や考え方を広げる学習の充実 スピーチをする際に、聞き手に分かりやすく伝える工夫を考える学習や、聞き手の立場から検討する学習の一層の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 円と扇形を関連付け、扇形の弧の長さや面積とその中心角の大きさの関係を捉える学習の一層の充実 反比例の表からx、yの値の関係を調べる活動を通して、見出した関係と式、比例定数を関連付けてまとめる学習の一層の充実 総度数が異なる資料の比較などを通して、相対度数の必要性や意味を理解する学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 日常の事象を理想化・単純化する活動を通して、数学の世界で考察するよさを実感できる学習の一層の充実 問題解決方法に焦点を当て、「用いるもの」とその「使い方」について考え、説明する学習の充実 問題解決の過程や結果を振り返り、新たな問題を見出し、解決する学習の充実

質問紙調査

※1 ()内は29年度の数値 ※2 網掛けは28年度より高い ※3 ↑全国より高い ※4 ↓全国より低い

<p>○肯定的な回答の割合が高い設問</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う (98.2%↑) 毎日同じ時刻に起きる (96.4%↑) 学校で友達と会うのは楽しい (95.6%↑) 学校の規則を守る (95.6%↑) 友達との約束を守る (95.6%↓) 授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていた (95.6%↑) 家で学校の宿題に取り組んでいる (94.8%↑) 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞く (93.8%↓) 物事を最後までやり遂げてうれしかったことがある (92.2%↓) 朝食を毎日食べる (91.2%↓)
<p>●肯定的な回答の割合が低い設問</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意 (48.2%↓) 話し合い活動において、異なる意見や少数意見を生かしたり、折り合いを付けたりして、意見をまとめている (43.9%↑) 家で授業の予習をする (35.1%↑) 地域の行事に参加している (32.4%↓) 新聞をほとんど読まない (74.6%↑)

<p>■メディア利用に関する設問</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日に2時間以上テレビやビデオなどを視聴する (36.8%↓) 1日に2時間以上テレビゲームをする (28.4%↓) 1日に2時間以上メールやインターネットをする (25.4%↓) 1日に1時間以上勉強する (73.7%↑)
<p>■「主体的・対話的な学び」に関する設問</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていた (95.6%↑) 課題に対して自ら考え、自分から取り組んでいた (77.2%↑) 相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていた (76.3%↑) 道徳の時間では、自分の考えを深めたり、話し合ったりする活動に取り組んでいた (73.6%↓) 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てを工夫して発表していた (63.1%↑) 自分の考えを説明したり、文章に書いたりすることは難しい (53.5%↓) 授業の最後に振り返る活動をよく行っていた (50%↓)

学力向上に向けた今後の取組

<p>1 「分かる」「できる」を実感させる授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 <ul style="list-style-type: none"> 主体的な学習活動を促す「学習課題」の明確化 対話を通じて課題解決にせまる「問題解決的な学習」の充実 学習内容を確実に身に付ける「まとめ・振り返り」の工夫 ○数学科、英語科における少人数指導、チーム・ティーチングの一層の充実
<p>2 基本的な学習習慣・生活習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「明星夢ダイアリー」による自己の生活の見直しや計画的な家庭学習の促進 ○「明星中学校区小中連携教育推進会議」等による義務教育9年間を見通した学習習慣・生活習慣づくりの推進
<p>3 学ぶことと自己の将来とのつながりを実感できるキャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発達段階に応じた上級学校や職場での体験学習等の充実 ○社会や世界との関わりから学びを深める体験活動や奉仕活動の推進 ○自己の生き方を考える学習活動の充実